

課題名:「当院で診療した小腸腫瘍の実態」について

○研究の意義・目的

小腸バルーン内視鏡, 小腸カプセル内視鏡などの開発普及に伴い, 小腸疾患の診療が一般化しており, 小腸腫瘍性病変も多く診断され, 内視鏡的あるいは外科的に治療されるようになっていきます。しかし, 小腸腫瘍の実態に関して不明瞭な点も多いため, 小腸腫瘍(良性腫瘍も含めて)の実態(疫学, 診断, 病態, 治療, 予後など)を明らかにすることを目的としました。

○研究対象者

2003 年 9 月から 2025 年 2 月までに広島大学病院内視鏡診療科にて診療した小腸腫瘍の患者さんを対象とします。

○研究の方法

本研究は, 全て診療録(カルテ)の既存資料を用いて行います。カルテから転記する内容は, 対象患者さんの年齢, 性別, 血液検査(Hg, CEA, CA19-9 値), 臨床的特徴, 診断, 治療, 予後などについてです。(個人が特定出来る情報は転記しません)
(研究期間 実施許可後～ 2028 年 3 月 31 日)

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院消化器内科 教授 岡 志郎

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

- * 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5537

広島大学病院 消化器内科 教授 岡 志郎 (研究責任者)

広島大学病院 消化器内科 助教 壺井 章克(研究担当者)